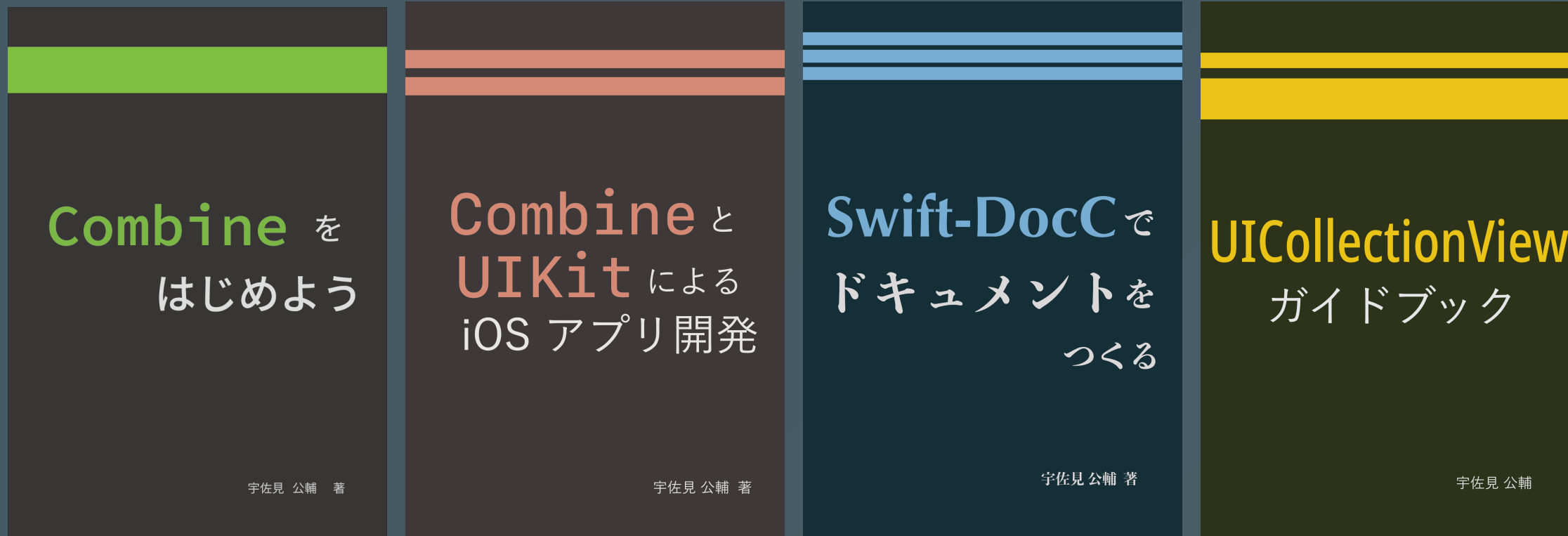


ゆめみ大技林製作委員会の 立ち上げの話

宇佐見公輔 / 株式会社ゆめみ
2023-08-23

自己紹介（個人の技術同人誌）



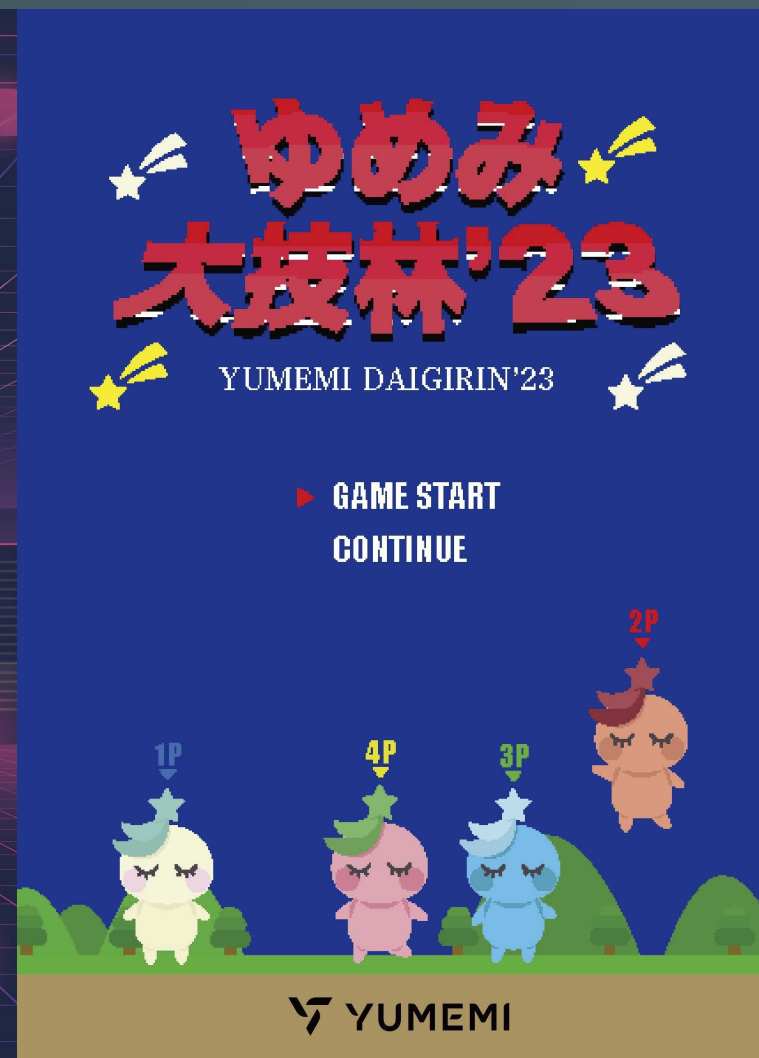
今日の内容

- ゆめみ大技林の紹介
- ゆめみ大技林を作ろうと思った理由
- ゆめみ大技林製作委員会の立ち上げ
- 今後の展開

ゆめみ大技林の紹介

ゆめみ大技林

- ゆめみ大技林 '22
- ゆめみ大技林 '23
- 紙版と電子版を頒布



技術同人誌とは

- 同人：同じ趣味や志を持った人たちの集まり・サークル
- 同人誌：「同人」が制作する書籍
 - 執筆から製本まで自費で制作
 - 30ページくらいの「薄い本」が多い（？）
- 技術同人誌：「同人誌」の中でも技術をテーマにした書籍
 - 実用的な内容から趣味全開な内容まで多岐にわたる

ゆめみ大技林とは

- 株式会社ゆめみの有志メンバーが共同で作成した「技術同人誌」
- 章ごとに独立した内容のアンソロジー形式
- ゆめみ大技林 '22
 - 著者5名、90ページ
- ゆめみ大技林 '23
 - 著者11名、136ページ

頒布数

- 各イベントで無償で頒布
- ゆめみ大技林 '22
 - 紙版450部（技術書典13、技術書典14、技書博8）
- ゆめみ大技林 '23
 - 紙版400部（技術書典14、技書博8）
- 11月に新刊を発行予定
 - 紙版？部（技術書典15、技書博9）

ゆめみ大技林を作ろうと思った理由

技術同人誌の制作を広めたい

- 2022年1月にゆめみに入社
- すでに個人で技術同人誌を何冊か書いていた
- ゆめみはアウトプットが盛んだが、技術同人誌制作はまだなさそう
- そこで、技術同人誌の制作を広めてみようと考えた

制作のハードルは高い

- 技術同人誌の制作はハードルが高い
 - 工程が多い：企画、執筆、校正、組版、印刷・製本、頒布
 - これを一人でやるのは大変
- やってみたいと思ってもらえるか？
 - やりたい人に、具体的な方法を伝えることはできる
 - しかし、実際にやるモチベーションが湧くか？

共同制作のアンソロジー形式へ

- そこで、共同制作のアンソロジー形式にした
 - 技術同人誌の一部を執筆するという形で参加してもらえる
 - その中で、本の制作の流れを体験してもらう
- 制作を主導できる人が必要
 - 自分が主導すれば良い
- 執筆に参加する人が複数必要
 - ゆめみのメンバーならなんとかなるだろう

ゆめみ大技林製作委員会の立ち上げ

ゆめみの制度を利用する

- 委員会活動が存在する
 - WG（ワーキンググループ）
 - 採用WG、育成WG、標準化WG、技術調査WG、など
- プロリク（プロポーザルレビューリクエスト）
 - メンバー誰もがプロポーザルを出せる
 - 「技術書執筆WGを試験的に発足する」

企画検討

- 最初は僕が所属するiOSギルドの活動として始めた
 - 最初からすべてのギルドを巻き込むのは大変そう
 - スモールスタート
- 社内勉強会の時間を借りてネタ出し会
 - 誰が執筆に参加するかは気にせずネタを出す
 - 執筆参加のハードルを下げる
 - どんなネタを書けばいいのか見えてくると参加しやすい

技術書執筆WGの発足

- 執筆参加者や制作協力者が出てきた
- 技術書執筆WGキックオフ
 - ミーティングの定例化
- 本の体裁やタイトルをみんなで考える
 - タイトルは「ゆめみ大技林 '22」に決定
 - サークル名も「ゆめみ大技林製作委員会」に決定
 - 2022年の技術書典13に向けて制作開始

自律的に動き始める

- WGの体制が整ってくると、みんな自律的に動き出した
 - 最初は自分が主導で進める算段だったが、自分がいなくても進む
 - ゆめみの良いところ

執筆委員会へ

- 無事に「ゆめみ大技林 '22」を頒布
- iOSギルドに限定せず全社的な活動へ
 - iOS委員会の下のWGでなく、独立した執筆委員会へ
- その後「ゆめみ大技林 '23」も頒布
 - 他のギルドのメンバーにも参加してもらえた

今後の展開

「ゆめみ大技林」の継続

- 11月に新刊を発行予定
- モバイル以外のメンバーにも参加してもらえると良さそう
- 社外からも参加してもらえると良さそう

それ以外の執筆活動のサポート

- 社内での書籍制作のサポート
- 個人で技術同人誌を作りたい人のサポート
- 勉強会の開催
- 商業誌への展開